



自分に勝て！

「第22回藤蔭杯争奪柔道大会（高島高校）で」

【特集】火災発生！ あなたは逃れられますか？ ②－⑤

お知らせ拡大版 …… ⑥－⑨
タウンピックアップ …… ⑩
みんなで5・7・5 …… ⑪
消費生活相談・省エネ …… ⑫教育委員会 information …… ⑬
健康生活 …… ⑭
国保年金あらかると …… ⑭
びょういんだより …… ⑮暮らしの情報 …… ⑯－⑳
そうだ図書館に行こう …… ㉑
窓口だより …… ㉒
歴史散歩 …… ㉓

大溝城

その過去・現在・未来

大溝城は、織田信長が、天下統一を目指す過程の中で安土に居城を構えたとき、その対岸にあたる高島支配の拠点として築かれた城で、甥の織田信澄が、天正6年（1578年）に入城し城主となりました。

織田信澄は、織田信長の弟である信行の息子で、父の信行が知行地（領地）横領の罪で信長に謀殺されたため遺児となり、織田家の重臣である柴田勝家に養育されました。その後、信澄は高島一円を支配していた磯野員昌の養子となりますが、天正6年に員昌が信長の怒りをかい、姿をくらませたため、高島の支配権を与えられ、大溝城築城とともにそれまでの居城であった新庄城（新旭町新庄）から大溝城に本拠を移しました。

大溝は、京と北陸諸国を結び西近江路が通る要所だけでなく、古代より勝野津として知られる港が存在するように、まさに陸路と水路が交わる交通の要衝であったと考えられます。

高島支配の拠点として大溝に城を構えた理由の一つには、織田信長が琵琶湖の水運を重要視していたことがあげられます。近江には、織田信長の安土城・織田信澄の大溝城・羽柴秀吉の長浜城・明智光秀の坂本城など琵琶湖に面して築かれた水城が存在します。信長は、これらの城を結ぶ湖上ネットワークにより、琵琶湖の支配権を掌握すること

ができました。大溝城は、その一端を担っていた重要な城でありました。

大溝城の城主に織田一族の信澄を起用したのも、安土城が京と東国を結ぶ拠点であるのに対し、大溝城が京と北陸諸国を結ぶ拠点的な城郭として非常に重要視されていたからではないかと考えられています。高島町教育委員会が、昭和58年に行った発掘調査の結果、本丸跡から安土城と同型と考えられる軒丸瓦が出土しました。織田信長の居城であった安土城と同型の瓦が出土したことからも、大溝城が織田一族の城として重要視されていたことが分かります。

織田信澄が築城した大溝城の全貌は明らかではありませんが、現在でも天守台跡と考えられる石垣が洞海（乙女が池）に隣接して残っていることから、琵琶湖や内湖を巧みに利用した水城であり、琵琶湖の湖上支配を重要視して築城されたことが現在の姿からもうかがえます。

大溝城については、まだまだ分からないことが多いですが、今回、「大溝城―その過去・現在・未来―」をテーマに、大溝城周辺の歴史や、大溝城下町、乙女が池をはじめとする大溝地域の景観を学習しながら、大溝城の未来の姿について考えるフォーラムを開催します。大溝城の過去・現在そして、未来について考える歴史の旅に皆さんも参加してみませんか。

大溝城フォーラム

○基調報告

- I 「大溝城と歴史遺産」
林 博通さん（滋賀県立大学教授）
II 「大溝城の現状と発掘成果」
白井 忠雄（高島歴史民俗資料館）
III 「大溝城遺跡周辺の水辺景観」
山岸 常子さん
（京都大学大学院工学研究科准教授）

○公開討論会

- 「大溝城―その過去・現在・未来―」
コーディネーター
中島 誠一さん
（長浜城歴史博物館館長）

・パネリスト

- 林 博通さん・山岸 常子さん
白井 忠雄

日 時 3月6日(土)
13時～16時50分

場 所 ガリバーホール

定 員 300人(先着申込順)

申込方法 電話・ファックス

申込期間 3月5日(金)まで

参加料 500円(資料代含む)

《フォーラム特別企画》

大溝城 歴史探訪

- 日 時 3月6日(土)
10時～12時40分
場 所 大溝城周辺の散策
定 員 50人(先着申込順)
申込方法 電話
申込期間 2月1日(月)～26日(金)
参加料 1,000円(昼食代)
★雨天決行します。
図・冊 高島市教育委員会文化財課
☎(32)4467 ☎(32)3568



▲大溝城天守台跡